



第 155 号 令和元年 10 月 1 日

伊豆歩倶楽部会報

♪ 伊豆歩の歌 ♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は
歓歩で完歩

■第 204 回 伊豆歩倶楽部 10 月例会

ジオサイト伊豆西海岸を廻る

10 km

今回のコースは伊豆西海岸を代表するジオポイント堂ヶ島を廻るコースです。

安城岬ふれあい公園をスタートして、途中の山道はアップダウンがありますが岬の先端を目指します。先端は亀のような岩から「亀甲岩」と呼ばれている。スタート地点に戻り沢田地区の仁科漁港方面に向う、沢田公園は白っぽい火山灰、軽石の地層の縞模様が美しく、断崖絶壁の上での夕陽を見ながら入る露天風呂は最高とのこと。また隣接した枯野公園では海底に流れ出た熔岩が海水により急激に冷やされバリバリと砕けながら流れ出た水冷熔岩が見られます。引き返して乗浜海水浴場に入る手前には「白岩山岩壁窟画」があり聖徳太子をはじめとして仏像画が描かれていて、造船の成功や地域の人々の安全を祈願したのではないかとされています。乗浜海岸からは堂ヶ島の海岸線の美しさを堪能できる。白い崖の海岸線が美しい堂ヶ島は海底に噴出した軽石や白い火山灰が堆積したもので海流による縞模様「波の化石」が美しい、堂ヶ島の一番の魅力は波の浸食で洞窟になり最後に天井が落ちた「天窓洞」で国の天然記念物に指定されています。駿河湾の景色を楽しみながら国道 136 号を上り瀬浜海岸に向かう、ここは干潮になると陸と地続きになる「トンボロ」現象を見ることがきます。



枯野公園

帰りのコースは国道 136 号をいっきに下りスタート地点の安城岬ふれあい公園を目指します。

- 【開催日時】 令和元年 10 月 20 日（日）
【集合場所】 安城岬ふれあい公園(東海バス仁科車庫徒歩 5 分)
【集合時間】 10 時 00 分 スタート 10 時 15 分
【参加費】 会 員 無料 一般参加者 500 円（マップ、保険代等）
【コース】 10Km
安城岬ふれあい公園→安城岬→法眼寺→沢田→沢田公園→枯野公園→乗浜海岸
→堂ヶ島・天窓洞(昼食)→瀬浜→国道 136 号→安城岬ふれあい公園（ゴール）

【ゴール】 15 時 00 分予定

【問合先】 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂 301

伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

10 月オプション

樹海の神秘にふれる

11Km 4Km

今回は、多くの要望がありました青木ヶ原樹海を計画しました。貞観 6 (864) 年富士山の北西で起きた大噴火 (貞観の噴火) によって、流れ出た溶岩の上に苔や草、低木が生え、千年以上の時を経て現在のような装いとなった。標高 900~1300m 付近に位置し、樹林帯の面積は約 30 平方キロメートルに及ぶ。常緑針葉樹が多く国の天然記念物に指定されている。

千円札の図柄となった富士山の雄姿が望める本栖湖 (標高 900m、水深 121m) 県営駐車場をスタートして北の山バス停より東海自然歩道に入る、本栖城址登山口を進むと国道 139 号線の下をくぐり青木ヶ原樹海に入る溶岩台地に根を張りまわした木々や森をおおう美しい苔の中を歩くと精進湖民宿村に出る (B コースのゴール)。昼食と小休憩をして再び樹海の中の東海道自然歩道を進むと精進口登山道に合流する、歩道は整備されていて歩きやすい、樹木や溶岩に密生した苔を眺めながら高低差のない歩道を進むとゴールの富岳風穴である。

樹海の中の道は、落ち葉の上を歩く高低差のない歩道です、樹木や溶岩に密生した苔を観ながら神秘の樹海を歩きませんか。



*開催年月日 令和元年 10 月 27 日 (日)

*集合時間 10 時 00 分

*集合場所 本栖県営駐車場

*距離 ・A コース 11Km B コース 4Km

*会費 会員 10,000 円 一般参加者 11,000 円 (昼食、マップ、保険代等)

*募集人員 23 名 (会員優先)

*締め切日 令和元年 10 月 12 日 (土)

*行程 中型バス使用

松崎 5:00→伊豆急下田駅 5:40→道の駅「開国下田みなと」 5:45→奈良本・小橋 6:20→高原ビール 6:30→伊東商高前 6:55→道の駅「伊東マリンタウン」 7:10→JR 三島駅北口 8:20→長泉沼津 IC→駿河湾沼津 SA 8:50→新富士 IC→本栖県営駐車場 10:00

*コース 本栖県営駐車場➡城山跡入口➡国道トンネル➡精進湖民宿村（昼食）B コースゴール➡精進口登山道➡富嶽風穴（ゴール予定 15:00）

*帰宅予定 伊東 18時30分 下田 19時50分 松崎 20時35分

*申込方法 会員番号、名前、電話番号、乗車場所記入の上ハガキ、FAX、電話で事務局まで申し込んでください。（一般参加者は生年月日もお願いいたします。）

*申込・問合せ先 〒215-0038 静岡県下田市大賀茂 301

伊豆歩俱樂部事務局 （笹本）

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

※今回のオプションは参加人員が 18 名以下の場合は中止となります。

■第205回 伊豆歩俱樂部 11月例会

第23回 「伊豆の踊子」ウォーキング

紅葉と清流を観て聴いて楽しむ

14Km 10Km

川端康成「伊豆の踊子」の中で、19歳の孤独な少年と14歳の踊子が想いをよせて歩いた紅葉が美しいつづら折りの天城路や天城山隧道、杉並木の宗太郎園地、清流と紅葉、溪谷美の猿田淵、河津七滝を下りループ橋からつり橋を渡る。翌朝踊り子は、宿の向かいの共同湯の中から真裸のまま飛び出してきた「私」に合図する。私が泊った宿「福田屋」がゴールです。

水生地では、松本清張作「天城越え」小説の氷室を見学します。



【開催月日】 令和元年 11 月 17 日（日）

【集合時間】 9 時 30 分

【スタート】 9 時 50 分

【集合場所】 天城・水生地下駐車場

【交通機関】 伊豆急河津駅下車 東海バス 修善寺行
伊豆急河津駅発 8 時 40 分→湯ヶ野発 8 時 54 分→水生地下着 9 時 25 分
料金；伊豆急河津駅～水生地下 950 円 湯ヶ野～水生地下 710 円
*湯ヶ野に駐車される方は、町営湯ヶ野駐車場をご利用下さい。(無料)

【会 費】 会員 無料 一般参加者 500 円 (保険、地図代等)

【コース】 14Km
水生地下駐車場⇒水生地・氷室⇒天城山隧道 (WC) ⇒寒天橋⇒二階滝⇒
宗太郎園地⇒休憩所・東屋 (WC) (昼食) ⇒猿田淵⇒河津七滝 (WC)
⇒ループ橋⇒つり橋 (WC) ⇒福田家・伊豆の踊子文学碑 (WC)

10 Km

14km コースと同じで河津七滝がゴールとなります。

【ゴール予定】 15 時 30 分

【その他】 昼食、飲料水、雨具等各自で準備して下さい。

【問合せ先】 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)
TEL・FAX 0558-22-5465
携帯電話 090-2140-1717

第 2 0 2 回伊豆歩倶楽部 8 月例会

森林浴と松川湖に涼しさを求めてのウォーク

伊豆歩倶楽部会員 NO618 清水政悦

伊東市の中央を流れる大川の上流に松川という川を抱えた奥野溪谷がある。
この入口に井原の庄という国民宿舎がある。そこから少し入った杉林の中に、十足の池(とうたりの
いけ)という池があり、周囲 200m 程の池というより、沼に近いといった方が良いと思う。この池を
囲むように数軒の農家が暮らしていた。池の水を
灌漑用水として、水田に分け合って使っていた。
伝わる神話によると、池には八岐大蛇(ヤマタノオ
ロチ)が住んでいて、鶏や兎を飲み込んで農家の人
達を苦しめていた。そこで村人達は水神さんを祀
り、毎年 7 月 16 日には、御神酒を供えて池には、
生タマゴを八個投げ入れて、一年の無事を祈った。
ある日突然池の水が増えて、川となって流れ出し
て、濁っていた水が清流となって、松川に流れ出



木立の中を時折流れてくる涼風が汗ばんだ体を心地よくしてくれた。

し溪谷をつくり、美山を潤し、狩場を抜けて、松川湖へと続いた。今日我々はこの溪谷の片蔭道を松川湖に、向って歩いている。途中水分補給と息抜き休憩をして、見慣れない鳥や樹木、花などと、話題は尽きなかった。この静かな溪谷にも、代々昔から伝えられる伝記が幾つか残されていた。

松川一帯を狩場としていた、伊東の武将伊東祐親は源頼朝公を慰めるため宴会を催し、さらに、この奥野で七日間も巻狩を続けた。狩りの終わりに、座興として「力比べ」の相撲が始まり、最後に俣野五郎(関東きっての力自慢)と河津三郎(伊東祐親の子)の勝負となった。三郎は俣野を土俵に投げ倒すのは、いと易いと思ったが、自尊心を傷つけては気の毒と思い力で土俵の外に押し出した。俣野は負けて憤然となり「不肖にも木の根につまずいた。今一度手合わせ願いたい」と出る。断ることも出来ず三郎は、二度目は得意の投げ技で土俵外に投げ出した。この勝負で俣野方と河津方が乱闘になりそうな場面になったが、貴賓である頼朝公の一声でこの場は治まりました。そして三度目の勝負で河津三郎の「河津掛け」で俣野を下した



休憩中に何の木の实かなと話題となっていた木が奥野ダムを周遊する道脇にアブラチャンと表示されていた。謎が解明!

舞台となった所は、今は松川湖展望台ログハウス下の湖面下だと云われています。我々も本日はログハウス横の大樹の下でゆっくりと昼食でした。午後は湖面の周囲をめぐり樹木に取付けられた名札の中に、あの不明だった樹木の名前発見(アブラチャン)一安心。

松川湖奥野ダムは伊東市の洪水調節と水道用水の目的で平成元年(1989年)奥野ダムと名付けられ、伊豆半島唯一の本格的ロックフィルダムとなっています。このダムを後にして、鎌田地区大川下流に、昭和62年4月除幕となった「万葉の小径」に入った。その名の通り万葉植物に親しむ歌人の歌碑が6ヶ所と名物わさび田跡の標示版6ヶ所がある。然しこの小径にも伝記があった。安元二年

(1176年)伊東祐親(平家の武士)の娘で、八重姫と蛭小島に流人の歳月を過ごしていた源頼朝と恋仲となり、二人の間に孫の千鶴丸が誕生した。武将祐親は平家をはばかり二人の仲を裂こうとするが、源頼朝と八重姫はますます伊東の音無神社で逢瀬を重ねる。祐親はどうとうこれを立ち切れず、孫の千鶴丸をこの奥野の大川下流、とどろきが淵に沈めると云う悲劇の場所である。この万葉の小径を出ると八代田橋である。ここから先は住宅街、ゴールの伊豆急南伊東駅もあと一息だ。前記のような奥野につたわる昔の話を想い溪谷の景観を眺めてのウオークでした。



松川湖展望台付近から眺める松川湖

◆◇例会報告◇◆◆◇

第 202 回 伊豆歩倶楽部 8 月例会

森林浴と松原湖に涼しさを求めて 暑気払いウオーク

- ・開催年月日 令和元年 8 月 25 日 (日)
- ・集合場所 大室公園シャボテン公園バス停
- ・集合時間 10 時 10 分
- ・天 候 晴れ
- ・参加者 6 名
- ・距 離 12Km
- ・出発式 開会挨拶 笹本 祀長会長
コース説明 徳田 尚志
ストレッチ体操 飯作 勝治
檄 徳田 尚志

さくらの里公園で出発式をして、10 時 50 分スタートする。今回のコースは緩い下り坂と平坦なコースです。清流が流れる木陰の中を進む、深谷橋 12 時 10 分、白川橋 12 時 20 分松川湖展望台に 12 時 30 分に着く、昼食休憩をして 13 時 00 分スタートする。湖畔を廻り奥野ダムに 13 時 40 分、万葉の小道 14 時 00 分、八代田バス停 14 時 40 分、ゴールの南伊東駅には 14 時 50 分暑い中無事ゴールする。暑気払いは伊東駅前で 5 名で盛大に行われた。



伊豆歩俳壇



八十二越え足腰痛む弁慶草

清水政悦

何も意し何も意いこと彼岸花

清水政悦

梅檀の咲いて古道の戸をひらく

夏緒

幾千の夢を背負ひて星流る

徳田尚志

投げ技の決まりて愁思切れにけり

徳田尚志

ダム湖の面湖底で眺めし月揺らぐ

徳田尚志

- ホームページアドレス <http://www.izuhorclub.com>
 メールアドレス info@izuhorclub.com
 ・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。
 ※会報への投稿は、毎月20日までお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。
 ・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治
 〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864
 携 帯: 090-7675-8682
 ・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301
 『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 記長
 TEL & FAX 0558-22-5465

■令和元年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和元年4月1日～令和2年3月31日》

【会 費】 継続会員 3,000 円/年 家族会員 1,500 円/年
 新規会員 4,000 円 （入会金 1,000 円 年会費 3,000 円/年）
 日本ウォーキング協会 正会員 10,000 円/年 維持会員 2,000 円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。
 ※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

--